

■会津八一 歌人、書家、美術史家。最後の東洋の文人で、昭和短歌・書道を代表する作品と多くの逸話を遺した。

あいずやいち

明治14年政変1881＝新潟市古町の料亭に生まれる。

帝国憲法発布1889＝8歳：

帝国議会始・1890＝9歳：

日清戦争始・1894＝13歳：

日清戦争終・1895＝14歳：新潟県尋常中学校（現県立新潟高校）に入学。

Bushidou・・1899＝18歳：北陸旅行中の尾崎紅葉の話相手をつとめたり、まだ評価の定まっていなかった良寛の芸術を逸早く認めて正岡子規に知らせたりし、新潟市内で坪内逍遙の講演を聞いて感動。俳句・俳論を盛んに投稿し始め、

ピアノ国産化・1900＝19歳：中学校を卒業して上京し、子規を訪ねるが、脚気により帰郷。

田中正造直訴1901＝20歳：「東北日報」「新潟新聞」の俳壇選者になる（以後諸紙の選者）。

教科書疑獄・1902＝21歳：再び上京して、東京専門学校（現早稲田大学）予科に入学。

日比谷公園・1903＝22歳：早稲田大学文学科に入学。坪内逍遙の知遇を得る。

日露戦争終・1905＝24歳：

満鉄発足・・1906＝25歳：卒業後、新潟の有恒学舎の英語教師になる。片思いの恋をするが叶わず、以後独身。

アヲヲ創刊・1908＝27歳：新潟大火で会津家が罹災し、家運が傾くとともに、酒量が多くなり健康を害する。**\*初めて奈良に旅行して仏教美術に開眼し、短歌20首を得る（絵ひらがなの万葉調短歌は初めから完成体を示す）。**

伊藤博文暗殺1909＝28歳：俳句の仲間と玻璃吟社を起こす。

韓国併合・・1910＝29歳：有恒学舎を辞して上京し、逍遙の推薦により早稲田中学校の英語教師となる。

明治天皇没・1912＝31歳：

この間、腎臓炎で度々静養するが、「学規」四則を定めたり、講演、連載、選者などの活動をする。

ロシア革命・1917＝36歳：

本格政党内閣1918＝37歳：早稲田中学校の教頭になる。

この間、奈良ほか各地を旅行する一方、静養も度々となる。

大暴落・・・1920＝39歳：日本希臘学会を創立、会長となる。

原敬首相暗殺1921＝40歳：

水平社結成・1922＝41歳：教育方針の対立などから、教頭を辞任。

関東大震災・1923＝42歳：希臘学会を解消して、奈良美術研究会を創立、会長となる。小川晴暘とともに室生寺の撮影取材。

護憲三派圧勝1924＝43歳：**\*「室生寺大観」を刊行。処女歌集「南京新唱」を刊行。**

治安維持法・1925＝44歳：早稲田中学校を辞し、早稲田大学付属高等学院教授となる。

円本時代始・1926＝45歳：早稲田大学文学部の講師となり、以後、東洋美術史を講じる。

共産党事件・1928＝47歳：「奈良美術史料推古篇」を刊行。

世界恐慌・・1929＝48歳：浜田耕作、小川晴暘らと古美術研究誌「東洋美術」を創刊。父が没する。

海軍軍縮条約1930＝49歳：早稲田大学東洋美術史学会を創立、会長となる。

満州事変・・1931＝50歳：文学部教授となる。

国際連盟脱退1933＝52歳：この年から義姪の高橋きい子が家事や看病をする。**「私家版歌集「南京余唱」を刊行。**

帝人疑獄事件1934＝53歳：**「法隆寺法起寺法輪寺建立年代の研究」で文学博士の学位を受けた。私家版歌集「村莊雜事」を刊行。**

芥川直木賞始1935＝54歳：

その後も、奈良には何度も足を運ぶ。体調は全般にすぐれない。

日中戦争始・1937＝56歳：

健保+総動員1938＝57歳：早稲田大学文学部に芸術学専攻科を設置、その主任教授となる。改造社「新万葉集」に短歌30首。

大政翼賛会・1940＝59歳：**傑作歌集「鹿鳴集」を刊行。**

日米開戦・・1941＝60歳：書画図録「渾斎近墨」刊行。

・・・・・1942＝61歳：作歌を語る「渾斎隨筆」を刊行。

年金+総武装1944＝63歳：既に病気がちになっていたきい子を養女とする。**「歌集「山光集」刊行。**

敗戦・・・1945＝64歳：戦災に遭って郷里へ帰り、二度と東京へは戻らなかった。きい子が死去し、**「私家版歌集「山鳩」を刊行。**

新憲法公布・1946＝65歳：「夕刊ニヒガタ」が創刊され、同社社長に就任する。叔父の孫娘中山蘭子が面倒を見るようになる。

新憲法施行・1947＝66歳：**\*戦災・養女の死を読み込んだ歌集「寒燈集」は完成の域と評された。書家としても令名高く、漢・魏・六朝以来の中国書道の伝統を食欲に摂取しつつ独自の道人風を成就、この年、書画図録「遊神帖」を刊行。**

三大事件・・1949＝68歳：蘭子を養女とする。「夕刊ニヒガタ」廃刊となる。

各地に歌碑が建立される。

独立回復・・1951＝70歳：「会津八一全歌集」で読売文学賞。

TV放送始・・1953＝72歳：**「宮中歌会始めの召人。「自註鹿鳴集」を刊行。**

自衛隊発足・1954＝73歳：杉本健吉との共著「春日野」を刊行。

**\*晩年も各地で書画展が開催され、「会津八一の書」なども、一般書家を超え、**

国連加盟・・1956＝75歳：**「没した。」**

容貌魁偉、狷介孤高で、かずかずの逸話を残し、最後の東洋の文人だったといわれる。